

# くしろ



## 釧路管内農業女性後継者の会「ミルねえさんず」

平成20年から毎年開催している研修交流会は、「酪農家に生まれ育った女性同士で分かり合える」と毎回とても好評です。会員は7市町村9名です。

「経営移譲が不安」という声が多いことから、今年度は6月に弟子屈町の会員牧場で研修会を開催しました。就農後5年で経営者になった会員から、経営移譲や結婚の経緯、両親との接し方を学びました。町外の仲間づくりのために気軽に参加してみませんか。参加希望や女性後継者の情報等ありましたら普及センターに連絡下さい。

|                    | 所在地                          | 電話・FAX                               | Eメールアドレス                                    |
|--------------------|------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------|
| 釧路農業改良<br>普及センター本所 | 〒088-2313<br>川上郡標茶町常盤8丁目5番地  | Tel:015-485-2514<br>Fax:015-485-2249 | kusirokita-nokai.11<br>@pref.hokkaido.lg.jp |
| 釧路東部支所             | 〒088-1365<br>厚岸郡浜中町茶内橋北東31番地 | Tel:0153-65-2021<br>Fax:0153-65-2037 | kushiroto-nokai.11<br>@pref.hokkaido.lg.jp  |
| 釧路中西部支所            | 〒084-0917<br>釧路市大楽毛127番地     | Tel:0154-57-8306<br>Fax:0154-57-4702 | kushirochu-nokai.11<br>@pref.hokkaido.lg.jp |

ホームページアドレス：<http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

1 被害状況について

エゾシカによる牧草食害が各地で発生し収量低下の大きな要因になっています。普及センターでは、(独)道総研道東野生生物室の協力を得て被害を「見える化」するために平成29年から2年間、鶴居村重点地域の新播草地において被害調査を実施しました。平成29年の1番草は約40%、2番草では約20~50%の被害があり、また、平成30年の1番草は約20%、2番草では約30~40%の被害がありました。2年間の調査で、年毎に被害割合が違ってくるのことが分かりました。



調査枠設置の様子



2 対策事例について

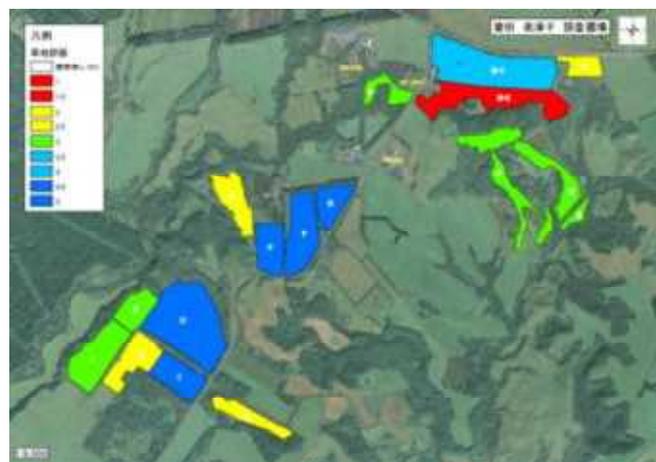
C農場では、平成29年の被害調査結果をうけて、新播草地の対策として2ほ場17haに電気柵を設置しました。その結果、1番草は(収量調査において)鶴居村平均収量に対して40%多く収穫できたことが分かりました。皆さんも、エゾシカの被害対策について一度検討してみませんか？

釧路本所地域では、重点地区(弟子屈町上仁多地区)における植生改善の取組を、他地域へ波及する活動を実施しています。

本年度はJAしべちゃと連携し、植生調査や土壌分析に基づく施肥設計などに取り組んでいます。

植生調査結果は、植生の良し悪し別に色分けしたほ場マップをJAに作成していただき、更新計画の作成に役立てました。

また、弟子屈町上仁多地区の草地管理達人の管理手法を基に、施肥タイミングや牧草の



植生調査の結果別に色分けしたほ場図



JA、普及センターで農家と検討

高刈り、石灰散布など更新した牧草地を長持ちさせる取組も推進しています。

モデル農家の中には、数年前から積極的に植生改善に取り組み、乳飼比の低下など、経営改善に繋がっていることが確認できた農家もいます。

普及センターでは、「牛づくりは草づくり」の基本に立ち返り、JAと連携した植生改善の取組を農業者と共に今後も進めていきます。

## 推進事項の紹介

# 高付加価値事例を学ぶ講座を開催

平成30年11月5日、厚岸町で「農畜産物活用研修ファームバリューアップ講座」を開催しました。高付加価値化や地域活性化に取り組む農業者から、先進的事例を学ぶことを目的に毎年開催しています。

土幌町でヨーグルト加工販売と農場カフェを営業する、(株)山岸牧場の山岸厚子取締役を講師に、取組経過や農業発信を意識した商品づくり等を講演いただきました。

販路や商品のデザイン等、質疑が次々と出され、充実した意見交換ができました。出席



農業者と関係機関が出席



(株)山岸牧場の付加価値活動を聞く

者からは「思いを叶える行動力が素晴らしいです」「家族の協力を得て、一方向に進んでいることがわかりました」等の声が聞かれ、「夢を実現させた」山岸さんからそれぞれの目指す付加価値活動へのヒントを得ることができました。

普及センターでは生産物の付加価値づくりを目指す農業者へ、ステップアップのための活動支援を今後も行っていきます。

## 活動の紹介

# サイレージ用とうもろこしの除草剤を上手く使おう

釧路管内において、サイレージ用とうもろこしの作付面積は増加しており、H24～H29の6年間で約1.3倍となっています。一方で、収量に関しては、ほ場毎のバラツキが大きくなっています。

その原因のひとつとして、雑草繁茂による収量への影響が挙げられます。これは、作付面積の増加に伴い雑草処理委託面積も増加したことで、作業の集中化が除草剤の適期散布を困難にしていることが考えられます。

そこで、普及センターでは、最大限に除草効果を発揮させることを目的に、発生雑草の調査や除草体系別の試験ほを設置しました。

その結果、処理方法の選択により、作業適期幅の拡大や除草効果の向上、収量性の改善につながるということがわかりました。

サイレージ用とうもろこしの除草方法についてお困りの方は、お近くの普及センターまでお問い合わせ下さい。



試験ほを作り、除草効果を確認



釧路管内で見られる雑草

毎年、牛も人も悩ませるハエ。駆除したくても、「殺虫剤は、飼槽・水槽に入らないように使うのは、手間がかかるしなあ」、「粘着シートは、先に草やホコリが付いてしまうし」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

厚岸町若松の古館牧場では、昨夏、食品と食器洗剤でハエトラップを自作してみました。

作り方

○トラップの容器

〈材 料〉

- ・1ℓのペットボトル

〈作り方〉

- ①ペットボトルの側面2箇所に縦1.5cm横5cmの穴を開ける。
- ②キャップの直下に、吊り下げ用の紐を縛る。



○トラップの液剤



砂糖 20g (大さじ2杯)      食酢 100ml      清酒 100ml      食器用洗剤 1ml

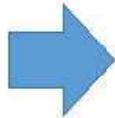
+ 水100ml

1 本当たり材料費 45 円

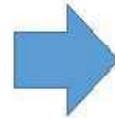
使い方



液剤を、ペットボトルの底から3cm程度液剤を入れる。  
※ 液剤を入れるとき、穴から液が漏れないように注意。



ハエが飛ぶところに吊す。  
・ 床から50～120cmの高さに  
・ 10～15㎡に1個の割合で



ハエが溜まったら液剤を交換  
・ 夏場なら7～10日前後

こうなりました



図1 1日1本当たり捕虫数(平成30年)

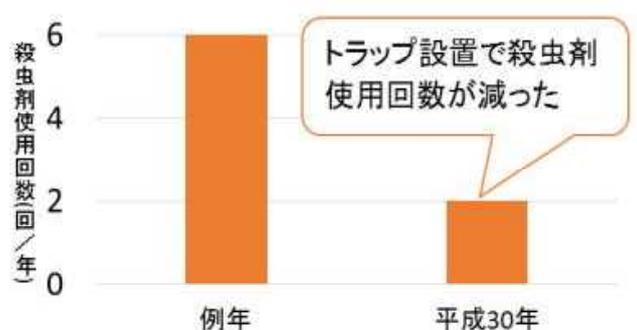


図2 殺虫剤使用回数の変化

5月下旬には、既にハエの成虫が飛び回っています(図1)。生涯で約500匹も産卵するハエの成虫を減らすため、5月中旬からの設置をお勧めします。

ハエ退治の基本は、除糞でウジを残さないことだけど、どうしても成虫は飛んで来るしね。トラップで殺虫剤の使用回数も減って、手応え十分でした。

